

# 一宮西高 同窓会報

第30号

2015年7月7日発行

発行：一宮西高校同窓会事務局

一宮市萩原町串作字河田1番地 〒491-0376

TEL (0586) 68-1191 FAX (0586) 69-0196

E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp

## 「10回生への想い」

暑中お見舞申し上げます。同窓会会員の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃は、西高同窓会の活動に対し深いご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。私は平成26年度に同窓会役員に指名されました12回生の尾関 毅でございます。浅学非才の私ですが、何卒よろしくお願い致します。

さて今年も本年度の総会を8月9日(日)午後5時より8時まで、尾張一宮駅前ビル(いービル)にて開催します。是非、ご参加をお願い申し上げます。



「西高で活躍中のサッカー部」

## 同窓会書記 尾関 毅

同窓会総会と同時に、第10回生・第30回生の学年同窓会を計画しておりますが、12回生の私にとつては10回生の先輩は、あこがれ・尊敬の対象でした。その私のあこがれ・尊敬した10回生のハンドボール部の先輩が、今年の2月の初旬に病で亡くされました。私はその先輩とは大学も学部も学科も同じで、部活動も同じでした。私は悲しくてしょうがありませんでした。昨年お会いしたとき、今年の8月の10回生の学年同窓会に来てくださいと、お願いしておきました。が、叶わぬ夢となりました。私の大学の時の新歓コンパ以来杯を

かわすことが夢でしたが…  
決して先輩にも声を荒げることがない沈着冷静なかつこい先輩でした。

11回生の先輩にはフレンドリーな感覚で接することができましたが、10回生の先輩は雲の上の人のようで近寄り難いものでした。

先輩からハンドボール部を引き継いだ私は、先輩同様、常に自分の弱い心に負けないことと、一宮西高校の誇りにかけて、戦うことを心に切磋琢磨し合ったものでした。

戻りますが、亡くなった先輩には、「さようなら。ありがとうございました。」と言ってお送りしました。「さようなら」は別れの言葉のうちで最も美しい言葉です。それは、「さようなら」は「左様ならば」が略されて挨拶となった言葉です。

「左様ならば。そういうことであるならば。本当は別れたくないけれど、どうしてもそうならなければいけないならば」という意味です。

最後に先輩にハンドボール部のポロシャツに書かれた言葉を送りたいと思います。

「みんなで掴んだこのボール、絶対ゴールにたたき込め、一球一球、魂込めて」

仲間のために全力送球  
一宮西高校送球部

皆々様のご健康とご多幸を心より祈念し、また8月9日(日)午後5時よりの総会へのご参加をお願いしてご挨拶とさせていただきます。

## 平成27年度 同窓会総会のお知らせ

(全日制第10回生・第30回生学年同窓会 同時開催)

日時 8月9日(日) 午後5時より

場所 尾張一宮駅前ビル(いービル)

会費 5,000円(学生は3,000円)

※出欠は同封のハガキ、または

E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp で

お知らせください。その他のお便りもE-mailでどうぞ。

※来年度は、第11回生・第31回生(昭和52年卒・平成9年卒)の学年同窓会を計画しております。

※西高ホームページ

<http://www.ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp/>

も参考にしてください。

HPの中にも、同窓会のE-mailアドレスが記されています。



修学旅行



修学旅行



予餞会

## 「お世話になります」

校長 井中 宏史

ご勇退されました鈴木英史先生の後を受け、この4月に第18代校長として赴任いたしました。職員と力を合わせ、本校の発展のために尽力する所存でございますので、前校長同様、できればそれ以上のご指導とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

昨年度まで校長をしておりました一宮南高校から見ると、本校はまさに「上の」学校でありました。勉強はもちろんのこと、部活動や学校行事にも全力で取り組み、忙しくて熱心で欲張りな学校であることを、日々実感しております。先日必修旅行に同行させていただきましたが、行きの新幹線では、おそらく高校入学後ほとんどやっていなかったであろうトランプに、ややぎこちなく興じていた生徒たちが、帰りの新幹線では、疲れて寝るかと思いきや、満面の笑顔でここぞとばかりに楽しく盛り上がっていました。楽しむときは楽しむ、何事にも全力の一端がここでも現れたのかと、頼もしく思いました。

学校群の時代に一宮西に振り分けられた生徒が、卒業したときには進学面においても学校生活においても、「西高に来てよかった」と思えるようにするため、学校行事も勉強も部活も頑張らせ、熱心に指導する校風が今につながっています。母校の活躍は卒業生の誇りです。西高が、3年間の中身が

最も濃い学校として、これからも選ばれるよう、同窓会の皆様には、ご支援ご協力という他人行儀な関係ではなく、自分の学校として口を出し、手を出して、職員と生徒を叱咤激励し続けてくださることを期待しています。

さて、一昨年、創立50周年の記念式典が盛大に執り行われましたが、今年度は独立開校50周年に当たります。総体尾張予選で優勝したサッカー部、女子が準優勝したハンドボール部、県大会に多数出場した陸上部などが創部50年を迎え、西高祭も卒業式も今度が「第50回」となります。また、今の1年生が卒業するときには、卒業生総数が2万人を超えることとなります。本校が、主役である生徒を中心に、同窓会・PTAも加えて一丸となり、ますます大きな力を発揮する「名門」となっていくことを願い、確信しています。

そのために私たちは、本校の生徒・職員であることを誇りに思い、その期待と責任を十分に自覚して、一日一日を、一人ひとりを



遠足



遠足 リトルワールド

## 昨年度の総会報告

大切にして、常に手を抜くことなく教育活動に邁進していくことを改めて誓いたいと思います。本校で鍛えられし者たちは、たとえどんな時代にあっても、リーマンショックのような不況や、今株高円安で膨らんでいるバブルが弾けた時でも、たくましく生き抜く者となるでしょう。

同窓生の皆様方のように社会で活躍できる人材を、熱い先生方の力を借りて、全力を挙げて育成していくことが私の役割であります。もとより微力な若輩者でございますので、冒頭に書きましたように、今まで以上の叱咤と激励をお願いして、着任の挨拶とさせていただきます。お世話になります。

平成二十六年度の総会は、昨年八月二日（土）午後五時よ

り、尾張一宮駅前ビル七階シビックホールで行われました。

九回生・二十九回生を中心として、総勢百三名の方々に参加していただきました。ご多忙にもかかわらず、歴代の校長先生をはじめ、懐かしい旧正副担任の先生方、現職員の先生方にもご出席いただきました。

総会では、平成二十五年度の事業報告・会計報告、役員改選、平成二十六年度の事業計画・予算案の審議と、滞りなく議事を進めることができました。総会でもご報告させていただきましたように、同窓会費及び同窓会報郵送料カンパでは多くの方に協力いただき、重ねてお礼申し上げます。

懇親会は、学年同窓会を担当した九回生・二十九回生に新会員の四十八回生を加え、若々しい雰囲気の中で盛り上がりしました。各テーブルでは、昔話に花が咲き、時が経つのも忘れて旧交を温めることができました。懇親会を締めくくる校歌斉唱も恒例になり、名残りが尽きないままお開きとなりました。

本年は十回生と三十回生の学年同窓会を開催させていただきました。多数の方が参加していただければと考えております。なお、担当学年にかかわらず、クラス会や部活動のOB会の場合としても同窓会総会を大いに活用していただけたら幸いです。

今年度の総会に、是非皆様お誘い合わせの上、気軽に参加していただきますようお願い申し上げます。

## 東京支部会の報告

35回生 水谷 悟  
(2000年卒業)

2014年度の一宮西高校同窓会東京支部会は12月13日（土）に東京は新宿にて開かれました。校長在任中3年連続で参加していた鈴木英史先生を含め、総勢19名の出席をいただきました。

恒例となりました新宿西口交番前の「西高の校章」の下に集い、1次会の会場へと向かいました。昨年度同様、3時より1次会を始め、西高時代の懐かしい話や、近況報告で盛り上がり、あつという間の2時間でした。会場を移してクリスマスツリーの前で記念撮影を行いました（HPに写真を掲載していただきました）。新しいメンバーを加えての2次会も、母校の活躍に花が咲き、世代を超えて楽しいひとときを過ごすことができました。都合で途中で会を失礼することになりましたが、その後も西校同窓生の絆を強く感じる貴重な時間であったことと思います。

私が東京支部会に参加させていただいたのはこれで2回目になります。前回（3年前）お目にかかった方や今回初めてお会いする方



東京支部会



など様々でしたが、同窓生という繋がりですぐに打ち解け、気兼ねなく参加することが出来ました。今年度も11月中旬から12月上旬にかけての開催を予定しております。関東圏在住、または東京に立ち寄られる皆様のご参加で東京支部会を盛り上げていただきますようお願いをして、報告とさせていただきます。

## 西高での十八年間に

### 感謝して

二村 孝

平成二十七年三月末をもって、県立高校の教職員を定年退職しました。平成九年四月に一宮西高校に赴任して以来、十八年間勤務させて頂いたことになります。教職員生活三十八年になりましたが、その後半を西高でお世話になったことを非常に光栄に思っています。私は西高の卒業生ではありませんが、自分の学生生活や他校での勤務年数を考えても、何千人という卒業生の皆様と西高で過ごした時間を思い、西高との縁の深さを改めて感じています。

西高に赴任してすぐに二年生の担任を受け持ちましたが、そのときの生徒たちが熱心に学業、学校行事、部活動に取り組む姿勢に驚きました。そして常に真摯に物事を考え問題を解決しようとする様子に感心したことを今でも覚えています。そして十八年後の今でも、生徒のたちのその気質は少しも変わってはいません。今後とも良き伝統として受け継がれていくのだと信じています。

私は理科の教員として化学の授業を担当してきました。実験や観察を通して少しでもその魅力を伝えたいと思い、学習指導に取り組んできたつもりです。しかし思うようにならないことも多々ありましたが、生徒たちの知的好奇心に支えられてここまで来ることができたと思っています。

クラス担任としては進路指導で生徒と共に悩み、学校行事でも何度もクラスとして賞を頂いたりしたことが思い出されます。

また部活動では途中から美術部顧問を担当することになりました。指導経験のない顧問の下でも生徒たちは黙々と活動に取り組み、作品を完成させていきました。その中で高文連の展覧会で選出され、生徒とともに全国高校文化祭に参加したことは非常に大きな思い出になっています。

さて最後にあたり卒業生の皆様に感謝を申し上げます。西高の素



体育祭

晴らしい伝統が受け継がれ、西高と同窓会が益々発展されることを心よりお祈り申しあげます。

## 西高生になるといふこと

松岡 利幸

この度の人事異動で、12年間お世話になった西高を離れてしまいました。西高に最初に赴任した年だけは2年担任として、その後はずっと3年担任や進路主任として受験に携わってきました。何の因果か、今は一宮高校で1年の学年主任として、ほとんど未経験の学年運営に右往左往しています。

西高では生徒の皆さんに、学習も部活動も、そして学校行事にも熱心に取り組むことを要求しています。そして実際、ほとんど全員の皆さんが部活動に参加し、西高祭にも積極的・主体的に取り組み、毎年成功させてきました。1、2年生の皆さんは西高祭も大いに楽しんで欲しいと思います。3年生の皆さんは、あと1ヶ月もすれば大変な準備が始まります。自分一人の力ではどうにもならないことばかりですが、リーダーシップを発揮し、下級生を上手に導き、今年も成功したと思える西高祭にして欲しいと思います。

さて、皆さんが西高を選んだ第一の理由は何でしたか？。ほとんどの皆さんは、卒業後のより高い進路希望の実現であったはずですが、3年生の皆さんはこれから正念場をむかえるわけですが、覚悟はできていますか。もう部活動という逃げ道はありません。炎天下で頑張った最後の西高祭も終わっ

てしまいます。自分の目標を見定め、それに向かってただひたすら努力しなくてはなりません。そのような追い詰められた状況に、自分一人で耐えることは難しいものです。しかし、西高生はクラスの全員で頑張っていくことができます。そして、土曜講座をはじめとする先生方の厚いサポートや、早朝から夜まで学校をお世話して下さる用務員さんや事務の方々の協力があります。このような恵まれた環境のもと、自分の第一志望に向かってひたすら努力すること、そして納得のいく結果を出すこと（浪人してもう一年頑張ること、納得のいく結果ですよ！）。それができて初めて、真の西高生になったと言えるのではないのでしょうか。「西高祭は盛大だよ」、「部活頑張ってる」だけでは、西高の一面だけしか見えていません。3年生の最後まで西高をしゃぶり尽くして、卒業後は正しい西高を語れるようになってほしいと思います。



文化祭



修学旅行

## 同窓会費納入及び協力金のお礼

昨年度も例年通り同窓会費（年間二千円）の納入をお願いしましたところ、二百四十八名の方から会費をいただくことが出来ました。同時にお願いしました協力金とあわせて、六十八万円あまりをいただくことが出来ました。ご協力ありがとうございました。今年度も、年会費二千円とは別に、一口千円を協力金としてお願いしたいと存じます。同封の振込用紙をご利用の上、郵便局からお振込ください。よろしくお願いいたします。

